

## 新型コロナウイルス感染症（軽症・中等症 I）病棟開設のお知らせ

小豆畑病院は「地域が必要とする医療の実現」を基本理念として、活動を続けて参りました。茨城県は、新型コロナウイルスの入院適応であっても入院不可能となる“医療の逼迫状態”を危惧し、県内の急性期病院へ新型コロナウイルス専門病床の確保を緊急に要請しています。私たちはその要請に応えまして、現在、2021年9月中旬の患者受け入れ開始を目標に、新型コロナウイルス感染症病棟（以下、コロナ病棟、とします）の開設準備を行っております。

小豆畑病院の一般診療・救急医療・在宅医療は、これまでと変わらぬ運営を行って参ります。茨城県と医師会から委嘱され運営しております地域外来検査センター（新型コロナウイルスのPCR検査を行う医療機関）に加え、新型コロナウイルス感染症の入院治療にも微力ながら取り組んでいく所存です。

コロナ病棟の開設にむけて私たちが最も大切にしていることは、「院内において新型コロナウイルス感染を絶対に広めない（徹底した院内感染の防止）」ということです。

そのために、厚生労働省のガイドラインや、日本環境感染学会の「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド」を遵守し、以下2点を準備段階で実現しました。①外来受診・一般入院されている方とコロナ病棟へ入院されている方の接触をゼロにする②一般病棟入院ルートとコロナ病棟入院ルートを完全に分離する。これにより、一般外来・入院の方と、コロナ病棟入院の方の接触をなくすことが可能となりました。

また、本件の準備・運営に関しまして、感染症管理の専門家として、大学病院で新型コロナウイルス専門病棟の新規開設・運営管理を現在も行っている国際医療福祉大学医学部教授 吉田雅博先生を顧問に迎え、細かくチェックしていただき、密に相談しながら進めております。

皆様の住む町に、コロナ病棟ができることを心配に感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、私たちは、既に確立されている「適切な感染症管理のルール」を一つ一つ実現し、例外を一切認めない姿勢で、コロナ病棟の運営を行っていくことをお約束いたします。以上のコロナ病棟開設の進捗及び開設後の経過は、小豆畑病院のホームページで、随時、お知らせしていく予定です。

小豆畑病院が長年取り組んで参りました一般医療（急性期医療・在宅医療）と、新型コロナウイルス感染症の対応を両立させ、“一つの地域医療”として社会にご提供できる医療機関となるべく、これからも研鑽を積んでいく所存です。今までと変わらぬご指導とご協力をお願いいたします。

2021年9月8日

医療法人社団青燈会小豆畑病院 理事長・病院長  
小豆畑丈夫